

中小企業景気動向調査結果

(2019年10月～12月期)

上毛町商工会

このレポートは、福岡ひびき信用金庫が四半期ごとに発表する「ひびしん 中小企業景気動向調査結果」を上毛町商工会が簡易に取りまとめたものです。

	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	合計	回答率%
調査対象企業数	63	26	52	19	43	28	231	100.0
回答企業	63	26	52	19	43	28	231	

景況天気図

・前期：2019年7～9月期 ・今期：2019年10～12月期 ・見通し：2020年1～3月期

良い ← → 悪い

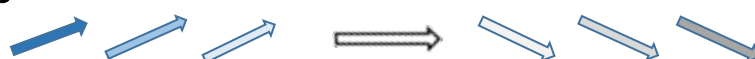
	総合	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
前期							
今期							
見通し							

(この天気図は調査結果から総合的に判断して作成しました)

業種別業況(今期と前期の比較)

	総合	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
業況							
売上額							
収益							
雇用							

良くなっている



悪くなっている

総合：業況は若干の下降。人手不足感は続いているものの若干解消。

製造業：業況は若干の下降。依然として人手不足感の厳しさは続く。

卸売業：業況は若干の下降。人手不足感の厳しさを増した。

小売業：業況は僅かに下降。人手不足感の厳しさは続く。

サービス業：業況は下降。売上額、収益ともに低下し、人手不足感も増加。

建設業：業況はやや改善。人手不足感はやや改善するも厳しさは続く。

不動産業：業況は若干の下降。人手不足感は若干の改善。

【地域別天気図（今期分）】

地域 業種名	北海道	東北	関東	首都圏	北陸	東海	近畿	中国	四国	九州北部	南九州
総合											
製造業											
卸売業											
小売業											
サービス業											
建設業											
不動産業											

(この天気図は、過去1年の景気指標を総合的に判断して作成したものです。)

← 好調 ← → 低調 →

特別調査 <2020年（令和2年）の経営見通し>

- Q 1：2020年の日本の景気をどのように見通していますか。
 回答：普通（63.8%） やや悪い（19.7%） やや良い（9.7%） 悪い（4.1%）
 良い（1.8%） 非常に悪い（0.6%）
- Q 2：2020年の自社の業況（景気）をどのように見通していますか。
 回答：普通（65.58%） やや悪い（19.8%） やや良い（10.8%） 悪い（1.8%）
 良い（1.3%） 非常に悪い（0.6%）
- Q 3：2020年において貴社の売上額の伸び率は、2019年に比べておおよそどのくらいになると見通していますか。
 回答：変わらない（57.3%） 10%未満の増加（18.3%） 10%未満の減少（15.4%）
 10～19%の増加（6.1%） 10～19%の減少（1.5%） 30%以上の増加（0.4%） 20～29%の減少（0.3%）
- Q 4：貴社では、自社の業況が上向き転換点をいつ頃になると見通していますか。
 回答：業況改善の見通しは立たない（35.2%） すでに上向いている（18.2%）
 3年超（14.1%） 1年後（13.2%） 3年後（10.4%） 2年後（5.1%）
 6ヶ月以内（3.6%）
- Q 5：10月以降の貴社の営業は、消費税率引上げ前の見通しと比べて、どのような影響を受けていますか。受けている影響とその理由について
 回答：変わらない（79.7%） 利幅の縮小（7.7%） 売上の減少（7.5%） 事務負担の増加（3.8%） 自動車・住宅等の各種税制優遇措置（0.4%）
 ポイント還元制度（0.3%） 食品等の軽減税率（0.3%）

（「ひびしん 中小企業景気動向調査結果」より、抜粋しました。）